

オリーブ通信

2023年6月号
2023・6・10発行
第255号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

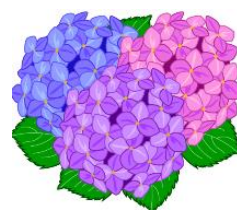
新しいなかまを紹介していきます



オノ・エベルトン(ブラジル)
昨年来日しました。
初級から勉強したいです。



ホアン・ヴァン・ビエン(ベトナム)
去年の8月に来日しました。
日本語学習の経験はないので、一
から勉強したいです。



よろしく
お願いします

中川先生のへんてこ日本語

ありません

153



5月5日の「こどもの日」に、近くのスーパーへ柏餅を買いに行った。その出店で、この数年ずっと買い求めている。今年は、少し遅めの時間だったせいか、「こめんなぎいね。売り切れてしまったんです。駅前の〇〇はまだたくさん持っています。」「と言っているので、急いで、駅前のチェーン店へ行った。「柏餅ありますか」と尋ねたところ、「ありません」のひとこと片付けられてしまった。こんな時は、「申し訳ございません。売り切れてしまったんです」と。客への配慮を示してほしかった。まさか「一見さん」と思われたわけでもないだろうが。

依頼に対してどう断るか、誉め言葉にどう返答するか、提案をどう否定するかなど、文法とは異なった、コミュニケーション・ストラテジーを「語用論」と言う。日本人と外国人とは、コミュニケーションの取り方にギャップの生じることが知られている。ギャップから軋轢が生じ、コミュニケーションが成立しないことも往々にしてある。筆者のような外国人とのコミュニケーションに慣れている者には摩擦は生じにくいとしても、一般人には、コミュニケーション不成立どころか、喧嘩沙汰にもなる。また初級の頃は許されるとしても、上級や超級となると、本気でそう表現しているのかと判断されてしまう。例えば中国なら中国で非日本語学習者の一般人、日本語学習者、滞日日本語学習者、滞日経験の長い者等によっても、ストラテジーに変化が生じてくることも予想される。そのようなストラテジーの変化を見るのが、まさに「語用論」である。

対応した店員さんは、外国人だったとは思えないが、日本語の問題ではなく、接客技術の問題だろうか。社員教育の不備だろうか。

ともかく、「ありません」では、「誤用、御用」。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

2023年度

5月14日(日)

オリーブ総会

14時～16時
キラリエ草津 402会議室
会員・賛助会員30名
(参加者23名 委任状7名)

昨年に続き午後から開催の総会でした。
豊村会長から2022年度活動報告、小春会計担当から会計報告、杉山会計監査担当から監査報告を受け、2023年度の役員および係選出をしました。



2023年度 役員および係

代表	恩地
会長	豊村
副会長	内田幸
会計	小春・杉山仁
会計監査	内田幸・杉山美
庶務(※1)	永井・三宅
受付	寺井・山元
入会	小春・渡辺真・中村・山元
オリーブ通信(※2)	福井・恩地・横山・西垣雅
キラリエサポーター	固定せず
ホームページ	中川
メーリングリスト	内田栄
KIFA	恩地
ボランティア保険	中川
BNN(※3)	福井・田中英
オリーブブログ	豊村
Facebook	恩地・小春・山元
出席簿作成	小春
部屋予約	恩地



※1 永井さん不在時、議事録は輪番
※2 サブ 中溝
※3 会議に出席できない時は輪番

さて、総会後は少し早めの軽い夕食。
コロナ感染拡大期間をはさんで、3年ぶりの会食です。
草津駅前ニワタスの「cafe tori」さんで。



3年が過ぎて、見えないお顔のあるのが少し寂しく、新しいお顔の多いのがまたたのしい。
来年、オリーブは30周年を迎えます。今年から30周年記念イベントの準備で忙しくなります。イベントのアイデアも準備委員会で検討されつつあります。今回はそのこぶし固めとも言える会合でしたね。



みなさん、1年間、係のお仕事をよろしくお願ひします。
そして、30周年イベントの成功をめでして、みんなががんばりましょう！

リレーエッセイ「教えたり教えられたり」 豊田一美

最近、AIのアナウンサーが遂にNHK テレビでも定時ニュースを読み始めましたね。これは私には「ChatGTP」の登場より衝撃的な出来事です。

もちろん悪い意味ではなく「ついにここまで来たか！！」という驚きです。

これまでもコンピューターボイスは様々な場所で普通に使われて来ましたが、やはりどこか不自然な声だったり、アクセントや間などに間違いがあり、すぐにAIとわかるものでした。

しかし最近では事前に「AIの声でお送りします」と言われなければ判別しがたいほどに進化しました。

人間の声は素晴らしい人間の道具であり、それぞれの個性、つまりブランドです。

これからはますます個性と個性の対話を大切にしなければなりませんね。

オリーブを私が知ったのは、BNNのスピーチ大会の映像を担当するようになってからです。

短期間で難しい日本語を習得し、大会で堂々とスピーチをこなす姿にいつも感動しながら撮影していましたが、編集してYouTubeにアップすると海外からの反響が高く、世界の皆さんがそれを見ながら日本語を勉強しているのが判りました。

それから暫くしてオリーブの教室を訪ね、自分でも日本語を教えられるのではないかと思い入会させて頂きました。

多くの実習生の場合は日本人との会話の機会が少ないようなので、オリーブでは時間いっぱい言葉を聴いて、言葉を返すフリートークを中心にしています。

会話がとぎれないように時間をつぶす練習ですが質問もたくさんしてもらいます。

自宅でやっているZOOMでは、生でシャドウイングなども交えてやっています。

最近の私自身の事ですが、オンラインで週の半分は日本語会話を教え、あと半分は逆に英語会話をネイティブの人にオンラインで教えてもらっています。

私も若くはないので大変ですが、いつかはランゲージエクスチェンジ(同じ相手の人と半分ずつどちらかの言語で会話の練習をし合うこと)に挑戦したいと思っています。

これこそ本当の「教えたり教えられたり」の交換ですよ。





先月の活動(5月)

日本語教室 13(M), 20, 27(3回)
 5/14(日) オリーブ総会
 5/31(水) くさつラウンドテーブル (恩地)



今月の活動予定(6月)

日本語教室 6/3(M), 10, 17, 24 (4回)
 6/27(水) コミュニティ事業団評議員会 (恩地)



参加人数(5月)

	5/13	5/20	5/27
学習者	11人	23人	21人
スタッフ	22人	22人	22人

●日本語教室の(M)は定例ミーティング

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



会員の動き (5月)

〈入会〉なし

〈退会〉永田 雄太

キラリエマツリ

6月4日(日)キラリエで開かれた「キラリエマツリ」に行ってみました。キラリエ草津入居の団体やボランティア組織で構成される「キラリエマツリ実行委員会」主催だそうです。さまざまなボランティアの活動紹介や商工会議所や福祉協議会によるイベントや展示がありました。KIFAも午後から生け花体験をするようでしたが、午前に行ったので見られなくて残念。草津は京都に比べてボランティア活動を支援するイベントがたくさんありますね。

オリーブにもキラリエで食事できるイベントをやらせてほしいなあ。



エントランスと1Fがマルシェになっていました。



子育て支援の取り組み多し。こちらは子ども服の交換会



おいしいパンとコーヒーとわらびもちで休憩♪



人形劇は立ち見もできるほどの大盛況。私も見入ってしまいました。



編集後記

私の担当する学習者さんが今度JLPTの4級を受験するのですが、先日「問題集とか持ってる？」と聞くと単語帳の他は何も持っていないというので、私の手持ちの問題集やCDを貸そうといういろいろ持っていったら、「いない」というのです。「え、テスト形式で勉強しておいた方がいいよ。」という、「スマホのアプリで勉強してる」と。見せてもらったら、一問一答の形式でJLPT対応の問題が次々とでてきます。かく言う私もスマホアプリで韓国語の勉強をしていますが、JLPT対応のアプリもあることに思い至りませんでした。

もはや問題集をボロボロになるまで勉強する時代ではないんですね。

そのうち紙の本は、LPレコードのように郷愁を覚える人のみの嗜好品となるのでしょうか。いや、もう、そうなっているのかな？ (フクイ)